

数字で学ぶ
男女共同参画教室

110位/149カ国

(世界経済フォーラム2018年版「世界男女格差報告書」)

この数字は、世界経済フォーラムが発表した2018年の「ジェンダー・ギャップ指数(GGI)」の日本の順位です。GGIは、経済、政治、教育、健康の4分野で各国の男女間の格差を数値化し、順位づけしたものです。

日本は前年より4つ順位が上がりましたが、日米欧の先進7か国では最下位で、依然として男女平等が進んでいない国の1つと指摘されています。

分野別では、日本は教育分野で65位、健康分野で41位となっているものの、経済分野では女性管理職の少なさなどから117位、政治分野では女性議員や閣僚の少なさから125位と経済・政治分野で女性の進出が進んでいない状況です。

男女間の格差を解消するため「女性活躍推進法」や「政治分野における男女共同参画推進法」の制定などの取り組みが行われていますが、今後はこれまでに以上の女性の参画を推進するための取り組みが必要です。

コンカツ
INFO
vol.31



①かつかつベリーハッピー! ②和まる ③Sante' ④和〜なごみ〜 ⑤くつきーだしゅー ⑥たもいやんせ(めしあがれ)

第3回コンカツスイーツコンテスト
グランプリに「かつかつベリーハッピー!」

第3回コンカツスイーツコンテストの最終審査が1月17日、市水産センターで行われ、川本未空さん、日高しずくさん(鹿児島城西高校2年)考案の「かつかつベリーハッピー!」がグランプリに輝きました。「食べた人が幸せな気持ちになるスイーツ」をテーマに24点のレシピの応募があり、1次審査を通過した6点を市内菓子店が試作。

味や見た目などを審査しました。「かつかつベリーハッピー!」は、昨年の第2回で入賞した2人が表彰式で訪れた枕崎で市民の優しさや温かさを感じた経験から「枕崎の方々に食べて幸せになってもらいたい」と考案。イチゴムースやピスタチオクリーム、かつお節入りクッキーを使っています。入賞レシピの一部は市内菓子店で商品化される予定です。

グランプリ かつかつベリーハッピー! / 川本未空、日高しずく(鹿児島城西高校) **準グランプリ** 和まる / Leo(鹿児島城西高校)、Sante' / マリーゴールド(鹿児島水産高校) **入賞** 和〜なごみ〜 / 猶木夏美(神村学園高等部)、くつきーだしゅー / 逆瀬川杏奈(神村学園高等部)、たもいやんせ(めしあがれ) / つると亀(鹿児島城西高校)

問合せ コンカツプロジェクト協議会事務局(水産商工課内) TEL72-1111・内線421

こんにちは、地域おこし協力隊幸田です。
2019年になりました。今年も1年よろしくお祈りします!

地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊
が行く!



【自然花まつりinきくしゅ】
昨年12月23日に「自然花まつりinきくしゅ」が木口屋で開催されました。今回で10回目を迎える自然花まつり。会場にはこれまでの歩みを振り返る写真が展示されていました。祭りのオープニングは、火の神乙女太鼓奏の皆さんの演奏、木口屋集落の方々やFAMの皆さんのダンスなど華やかなセレモニーとなりました。広場ではゴム鉄砲、しめ縄、ミニ門松、カラーサンドアートなどの製作体験、そば、出汁おにぎり、ぜんざい、焼き餅の販売などが行われました。私はミニ門松の製作体験ブースに入っており、子どもから大人までたくさんの方が製作体験をしました。門松を見たことがないという方も何人かいて、ビックリしました。確かに最近、門松やしめ縄などの正月飾りを飾っている家もあまり見かけなくなりましたよね。日本の正月文化を知ってもらおう機会にもなったと思います。

【JOIN 移住・交流&地域おこしフェア】
1月20日には、東京で行われたJOIN 移住・交流&地域おこしフェアに参加しました。開催会場は数多くのイベントが行われる東京ビッグサイトだけあって、当日は多くの来場者が詰めかけていました。私は鹿児島県ブースに参加し、北海道から沖縄県まで全国約550団体が出席、首都圏在住の方に向けての移住相談及び地域おこし協力隊の募集が行われ、鹿児島県ブースにも多くの方に来ていただきました。一口で鹿児島と言っても、地域によって大きな違いがあり、それぞれに特徴があります。特に鹿児島県は南北に縦長で、鹿児島市の北海道といわれるほど寒い伊佐市から、亜熱帯気候の島しょ部まで、それぞれの地域でライフスタイルが変わって

いたより難しかったです。前日の準備を含め、木口屋集落の方や鹿児島水産高校の生徒の皆さんをはじめとしたボランティアの方々も多く参加していただきました。本場に多くの方の力によって、一つのイベントが実施できているのだと改めて感じました。

てくると思います。来場されていた方の中には「二段階移住」を希望されている方もいました。最近見かける移住形態なのですが、首都圏などの都市部から移住する際、ある程度大きな地方の都市にまず移住し、徐々にその土地での生活に慣れてきたらさらに地方に移るといったものです。鹿児島県内で例えると、まず鹿児島市内に来て、その後枕崎などに移るといった形です。私も福岡から枕崎に移住する際、同じ九州だからそんなに変わらないだろうな、くらいに考えていたのですが、実際に来てみると色々違うことも多く、慣れるのも中々難しかったです。やはり観光で来るのと住むのでは全く違います。そのあたりのギャップを埋めることが移住へのハードルを低くし、住んでみたい街へ変えていけるのかなと感じました。



健康ちゃんねる

あなたの子育て応援
します

出産し、赤ちゃんとの生活に慣れるまでの1〜2カ月は、お母さんにとってさまざまな変化がある時期です。

ホルモンバランスの急激な変化や、赤ちゃんのお世話や自分の体調の変化、育児・家事との両立、出産前と比べるとさまざまな変化があり、どのお母さんであっても産後に不安を抱えたり、心身の不調を抱えやすくなります。

お母さんの心と体の調子が良くなり、育児が楽しく充実したものとなるようお手伝いするため、次の事業が平成30年10月からスタートしました。

産婦健康診査事業

産後の心身の不調や産後2つの予防のため、産後2週間・産後1カ月に産科医療機関にて産婦健康診査を実施し、その費用を助成します。

標準的には出産した医療機関で、産後2週間と産後1カ月の2回、産婦健康診査を受けることができます。健康診査の内容は次のとおりです。産後2週間、産後1カ月とも同じ内容です。

問診

⑨協賛企業・団体を募集
しています



業・団体の皆様のご協力をお願いします。
※詳細は、市実行委員会ホームページをご覧ください。
■協賛いただきたい物品等
のぼり旗、看板、飲料水、うちわ、大会参加記念品など
※協賛金は、受け付けていません。
問合せ 保健体育課国体推進係 TEL72-0170

燃ゆる感動 かがしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

燃ゆる感動かがしま国体枕崎市実行委員会(事務局=保健体育課国体推進係)では、国体・リハ大会の成功に向け、広報啓発物品や大会運営に必要な物品等をご提供いただき、企業・団体を募集しています。大会期間中は、全国から多くの選手・監督や関係者などが本市を訪れます。枕崎市民の温かいおもてなしの心で迎え、両大会を成功させるため、企

問合せ 健康センター
TEL72-7176

- ・診察
- ・体重、血圧測定
- ・尿検査(蛋白・糖)
- ・産後のお母さんの心の状態をチェックする質問票への記入
- ・産後はゆっくりと休息ができず、慣れない育児に奮闘し、つい頑張りすぎてしまうことがあるかもしれません。
- ・体や心が疲れたときは、頑張りすぎず、周囲に相談し、サポートを受けましょう。
- ・サポートを上手に受けるためには、次のような方法があります。
- ・パートナーと協力する:「ゴミ出しや買い物、洗濯、オムツ替えなどパートナーができることから頼み、協力していきましょう。」
- ・産後ケアを利用する:「産婦人科にて、お母さんが体を休めたり、乳房のケアや心身の不調があるときにケアを受けることができます。産婦人科にて出産されていない方も利用することができます。」
- ・お母さんの笑顔が、赤ちゃんの安心につながります。
- ・一人で悩まずに、産科医療機関や枕崎市子育て世代包括支援センター(枕崎市健康センター)へ、ぜひご相談ください。